

ベルマーク新聞 10月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

自然を知る大切さ、五感で体験

東京・八王子盲学校で防災科学教室



①花崎さんは「今日は、本物の火を使います」とろうそくを配った②大きな段差をまたぐと、次は泥水が待っている③ハンドベルの音の答えはミのフラット、みんな大正解。「良い耳してるね」と花崎さん④アイマスクをして完全に見えない状態で味の実験、分かった人から手を挙げよう⑤教室にはテントが設置された。どれくらい広いだろうか、中には何があるのだろうか⑥風に向かって傘をさす体験

東京都八王子市にある都立八王子盲学校(山岸直人校長、53人)で9月18日、防災科学教室が開かれました。ベルマーク財団と国立研究開発法人防災科学技術研究所(防災科研)の共催で、2018年度から始まったプログラムです。

講師の花崎哲司さんは元香川県立盲学校教諭で、定年後は防災科研の客員研究員として防災教育などに取り組んでいます。この日受講したのは小学部の児童9人。弱視から全盲まで、障がいの程度は人によって様々です。

「あ、テントだ」「なんか本格的じゃない?」——。テントやプール、ダンボール箱、ロープなどの大がかりな教材を見た子どもたちは、早くも気分が盛り上

がっています。花崎さんは自己紹介の後、普段から五感を研ぎ澄ませておくことの大変さを話し、実際にみんなの五感はどうなのか、確かめていきます。

最初は聴覚。ダム放水、増水した多摩川の音などを聞きます。リコーダーとハンドベルを使った音の高さを当てるクイズをすると、みんなとても良い耳を持っていました。「さっきのような水の音がしたら逃げてね」と花崎さん。

他の感覚も試します。ブロック2個を両手で持ち上げて重さを実感。さらにスギとヒノキの木片で匂いを比べたり、ろうそくの火の匂いを嗅いだり……。アイマスクで完全に目をふさいだ状態での味覚の実験では、オレンジジュースとお茶

をみんなあつという間に識別し「匂いでわかった」「おいしい」。そこで花崎さんが「晴眼の人は『味がわからない』『気持ち悪い』と言うんだよ」と言うと、驚きの表情が広がりました。

さらに実験を重ね、テントにも実際に入ってみたりした後、いよいよ教室から飛び出して避難体験です。点字ブロックの代わりにロープを貼った廊下を歩きます。しばらく行くと障害物や、上から吊ったダンボールで道がふさがれています。扇風機に向かって傘を開き、風の怖さを体感するコーナーも。子どもたちは、後に続く子に「ここに何かあるよ」と心配りしながら前へ進みます。

最後に用意されていたのは、床上浸水

を想定したふたつのプール。手前側はスポンジやつぶれたペットボトル、石などが入っています。奥側は泥水です。全員がアイマスクを着けて白杖を持ち、靴と裸足の両方で歩きました。「土がきもちわるい」「靴が重たい」など、さまざまな反応がありました。みんなで声をかけ合い、時折先生の手も借りながら、全員が無事に体験を終えました。

花崎さんは最後に、自分のこと、周りのこと、周りの自然のことをよく知っておくことの大変さを説きました。6年生が「将来自立するために今からいろんなことを知っておきたい」「災害が起きても、今日のことを活かして避難したい」と感想を述べて教室は終わりました。

東北3県の133校に総額1200万円

2020年度東日本大震災被災校支援

東日本大震災から10年。ベルマーク財団は今年も被災校に寄り添います。岩手・宮城・福島3県の小中学校133校に対し、総額1200万円相当の支援を実施します。

内訳は以下の通り。校名は3面に掲載しています。

- ・岩手県 小学校30校、中学校23校
- ・宮城県 小学校12校、中学校31校
- ・福島県 小学校25校、中学校12校

各県の小中学校長会に支援先リストの作成をお願いしました。校長会の希望で、昨年の台風被害の被災校も一

部含まれています。福島県の小学校は複数校が同じ校舎で学ぶケースも多く、支援単位としては17グループになります。

支援額は、各県の小中学校それぞれ200万円相当。必要な備品を購入するか、児童・生徒の移動の手段としてバス代として使うか、選んでもらいます。

その原資は、ベルマーク運動参加校がお買いものをする自動的につくられる購入額の10%の援助資金、各校から寄せられた友愛援助の現金寄付、「被災地に」として

送られてくる震災寄贈マーク、そしてウェブベルマーク運動で生み出された助成金です。ベルマークに携わる多くの方々の思いが被災校を支えています。2011年の震災発生以来、財団が支援した学校は、今年度分を含めてのべ2026校、支援総額は5億円を超えました。

未曾有の規模だった東日本大震災ですが、その後も台風や大雨、地震など様々な災害が日本列島を襲っています。今後もベルマークは被災した学校を支援していきます。子どもたちが等しく笑顔で学べることを願って。

「人のためになることができて良かった」

大阪府立中央聴覚支援学校、絵本を届ける運動に初参加



①黙々と個人作業をするグループ
②破れないよう慎重に慎重に…
③「みなさんよく頑張りました！」と富川先生(教壇の右側)
④自主的に検品をはじめるグループも

大阪市内にある大阪府立中央聴覚支援学校が、ベルマーク財団「教育応援隊」のひとつ「絵本を届ける運動」に初参加しました。

この運動はシャンティ国際ボランティア会(SVA)が続けており、貧困や紛争によって本に触れる機会が乏しいアジアの開発途上国の子どもたちに絵本を送ろうと、翻訳シールを貼って母国語で読めるようにして届けるボランティア活動です。ベルマーク財団は2000年から支援を続けています。

中央聴覚支援学校では、幼稚園から高等部まで幅広い年齢の生徒が学んでいます。今回この活動に参加したのは中学部の生徒28人。学校として参加するのは今年が初めてですが、実は富川裕子先生は昨年、個人的に絵本を3冊取り寄せ、中学部の生徒数人と作業を体験済み。実際にやってみて「これはぜひみんなにもやってほしい」と感じ、道徳(国際貢献)の授業の一環として今回の参加を決めました。

まずは9月2日に事前学習として、シャンティ国際ボランティア会の活動を紹介。作業をした絵本がどのようにして外国の子どもたちの手に渡り、どう活用されるのか、ビデオを見て学び、イメージをふくらませました。そして16日、いよいよ実際の作業です。中学部1年生から3年生までの28人が縦割りで3グループに分かれ、ミャンマーに送られるビルマ語の絵本を作りました。

作業について先生からの細かな指示はなく、生徒たちが話し合っ決めていきます。グループによってさまざまな方法が見られました。シールを切る人、渡す人、貼る人と役割を分担するグループもあれば、1人に1冊を割り当てて各自で黙々と仕上げるグループも。

「この学校の生徒は、できること、できないことがみんなそれぞれ違うのですが、それを理解し、お互いに助け合う姿が見られてよかったです。いつもおとなしい生徒が意外なリーダーシップを発揮するなど、新たな発見もたくさんありました」と富川先生。

「授業時間内に完成できるか」と心配していた先生方でしたが、みんなの頑張りは予想以上。さまざまなハプニングを乗り越え、時間内に全部で24冊の絵本が完成しました。生徒たちは「名前をビルマ語で書くことが難しかった」「1人だと作業が間に合わなかった。みんなで協力する大切さを知った」「自分がシールを貼った絵本を、たくさんの人に読んでもらえるとうれしい」「人のためになることができて良かった」と感想を披露しました。

富川先生は、「日頃、支援されることが多い生徒たちにとって、自分が支援する側にまわる経験はとても貴重です。社会の一員としての充足感と達成感を得ることができるので、こういった運動に参加させて頂けるのもありがたい」とほほ笑みました。

【今回送る絵本】あひのこ(俊成出版社)、けんかのきもち(ポプラ社)、とべ!ちいさいプロペラ(福音館書店)、みずうみにきえた村(ほるぷ出版社)、プレーメンのおんがくたい(福音館書店)

掃除機、タイマー、マイクとアンプ、綱引きロープ…

「支援で購入」4校から感謝メッセージ

ベルマーク財団が今年度支援したへき地学校から、感謝のメッセージが届きました。



香川県高松市立男木中学校(溝渕浩二校長)は、今回の支援でスティック型の掃除機を購入しました。届いたその日から子どもたちが使ってくれています。

瀬戸内海の中心に位置し、人口約160人の島です。1947年の創立当時は54人の生徒がいましたが、人口減少のため2011年に休校。しかし島に猫がたくさんいることがメディアに取り上げられ、瀬戸内国際芸術祭の会場にもなったことなどから、移住者やUターンで島に戻ってくる人が増えました。2014年4月に男木小中学校として再開し、現在、小学

2・3・5年生と中学1年生のそれぞれ1名ずつが通っています。今回の支援では、子どもでも気軽に楽しく掃除できる道具が欲しいと考えたそうです。

北海道浜中町立霧多布中学校(佐藤岳彦校長、52人)は、様々なものを購入しました。点数などを記録するデジタイ



マーは体育館で使っています。黒板に貼り付けることができるスクールタイマーは、今年度1学級増えた特別支援学級で活用しています。

さらに車いすも購入、ケガをした生徒がスムーズに動けるよう階段下の部屋に設置しました。他にデジタルカメラ用のSDカード、理科の実験に使う直流電源装置も。事務職員の森若元太さんは「手

の届きにくいところの備品をいただき、大変助かりました」と話しました。

道東に位置する浜中町は「花の湿原」とも呼ばれる霧多布湿原が有名。町で作る生乳は品質がとても高く「ハーゲンダッツ」アイスクリームの原料としても使われているそうです。

群馬県沼田市立利根中学校(諸田義行校長、56人)は、ワイヤレスアンプとワ



イヤレスハンドマイクを生徒が使っている写真を送ってくれました。全校生徒が毎日ランチルームで一緒に給食を食べるのですが、そこで使う放送設備が古かったため希望したそうです。「持ち運びができて、体育祭でも活躍しました」と諸田校長。

学校は山に囲まれており、生徒の9割がスクールバスを使って通学しています。歩いて10分のところにある吹割(ふきわれ)の滝は「東洋のナイアガラ」とも呼ばれ有名です。

昨年度の東日本大震災被災校支援の対象校、宮城県石巻市立鹿又小学校(阿部弘子校長、296人)からは、以前に感謝メッセージをいただいていたが、今度は購入した商品の写真と報告書が届きました。協賛会社のファミリーマート(ベルマーク番号23)から寄贈されたベルマークも合わせて、電気ポット、一輪車6台、30メートルの綱引きロープなどを買ったそうです。ロープは春から10月に延期した運動会で使う予定です。



生徒2人、離島の中学から「最後の」マーク届く

2年後に統合予定の岡山・笠岡市立白石中学校



①左から、天野公平さん、河田拳志郎さん②海辺の学習ではシーカヤックを体験③昨年12月の岡山県中学校文化連盟の発表会では、島の踊会と一緒に白石踊を披露した=写真はすべて白石中提供

瀬戸内海に浮かぶ白石島(岡山県笠岡市)の市立白石中学校(小橋重一校長、生徒2人)から8月下旬、ベルマークが届きました。人口433人の島で唯一の中学校で、マーク集めには島民たちが協力しました。同校は再来年、島外の中学に統合される予定で、これが白石中としての最後のマーク送付になる見込みです。

白石島は笠岡港から高速船で22分。奇岩や巨石が多く見られ、海水浴やマリンスポーツも楽しめます。

1949年に開校した白石中は、島の人口減や少子化のため、1950年の177人をピークに生徒数が減り続け、今春に3人が卒業した後、生徒は天野公平(きみひら)さん(3年)、河田拳志郎さん(2年)の2人だけに。同校には入学予定者が今のところおらず、2022年度には在籍者

が0人になる見込みで、同年度から本土側にある市立神島外(このしまそと)中学校に統合される予定です。

今年度はコロナ禍の休校がありましたが、4月の遠足では、観光スポットの鎧岩や大玉岩を巡り、7月の海辺の学習ではシーカヤックなどを体験しました。

白石中は1984年にベルマーク運動に参加。以前は島の公民館などにも回収箱を置いていました。集めたマークは生徒と先生が仕分け・集計をし、2016年は各教室で使う加湿器を購入。でも近年は収集を呼びかけていませんでした。

今年度は、事務職員が自宅からベルマークを持参してくれたこともあり、夏休みに校内を整理する際に、保管していた未整理分とあわせて仕分け・集計しました。天

野さんと河田さん、それに先生と一緒に作業。財団に届いた送り状には1063.2点とありました。

「島民の方々の協力がたくさんあって集めたマーク。今回が最後と思って送りました」と小橋校長。島に古くから伝わる盆踊り「白石踊」を総合的な学習の時間に地元の人から習うなど、地域とのつながりは深く、生徒は県中学校文化連盟の発表会などで踊りを披露してきました。小橋校長は「島民の方々は、学校やPTAだけではできない様々な活動に積極的に協力して下さるので、助かっています。ベルマーク預金は統合前に、有効に使いたいです」と話しました。

白石中は財団の2017年度へき地学校支援先で、簡易教材提示装置や電子ピアノなどを購入しました。

「お買いものガイド」後期号、お届け

購入品を使う子どもたちの写真も募集

ベルマーク預金で買える商品カタログ「お買いものガイド」の2020年度後期号がこのほど完成、10月中旬には参加団体にお届けします。表紙の写真は、紙芝居の練習にいそむ子どもたち。群馬県渋川市立渋川南小の図書室で撮影しました。ベルマークで木製の立派な紙芝居舞台を購入したのです。でも、折からのコロナ禍で、そのお披露目はオンライン配信になるとのことでした。

今回の「お買いものガイド」をお送りする封筒には、表に「コロナ禍に負けない

でね」というメッセージを入れました。また、ガイド本誌にも「みんなでコロナを乗り越えましょう」という文字を表紙裏に印刷しています。

「お買いものガイド」の表紙を飾る子どもたちの写真を募集中です。ベルマーク預金で買った備品や遊具を使っている姿を送ってください。約1年以内に購入した品物が対象で、採用作品には謝礼1万円、不採用でも財団HP等で写真を紹介します。「photo@bellmark.or.jp」宛のメー

ルに添付してお送りください。詳細は財団HPをご覧ください。

ベルマーク預金でお買いものをすると、金額の10%が財団に自動的に寄付され、災害被災校などへの援助資金に使われます。預金を貯めるだけでは支援につながりません。ぜひお買いものをご検討ください。



院内学級支援決まる 4学級がiPadなど購入

ベルマーク財団が支援する院内学級が決まり、4学級にiPadなどを購入してもらいました。被災校を除く財団の今年度支援は、へき地校100校、特別支援学校51校をあわせて計155校・学級となりました。支援先は以下の通りです。

福島県 平支援学校病院訪問学級(いわき病院)▽山梨県 中央市立玉穂中学校下河東分校(山梨大医学部附属病院)▽香川県 善通寺養護学校(四国こどもとおとなの医療センター)▽宮崎県 清武せいりゅう支援学校(宮崎大医学部附属病院)

東日本大震災 2020年度援助対象校

岩手県・小学校

宮古市 鉾ヶ崎小、津軽石小、赤前小、重茂小、崎山小、田老第一小▽大船渡市 盛小、大船渡小、末崎小、赤崎小、猪川小、立根小、大船渡北小、綾里小、越喜来小▽陸前高田市 高田小、気仙小、広田小、小友小、米崎小、矢作小、竹駒小、横田小▽釜石市 釜石小、唐丹小、鶴住居小▽大槌町 大槌学園▽山田町 山田小、船越小▽岩泉町 小本小

岩手県・中学校

宮古市 第一中、第二中、河南中、津軽石中、重茂中、田老第一中▽大船渡市 第一中、

大船渡中、末崎中、赤崎中、綾里中▽陸前高田市 高田第一中、高田東中▽釜石市 釜石中、大平中、唐丹中、釜石東中▽大槌町 大槌学園、吉里吉里学園中学部▽山田町 山田中▽岩泉町 小本中▽田野畑村 田野畑中▽野田村 野田中

宮城県・小学校

石巻市 釜小、大街道小、二俣小、鹿妻小、鮎川小▽気仙沼市 津谷小、中井小▽東松島市 鳴瀬桜華小▽丸森町 金山小▽大郷町 大郷小▽南三陸町 伊里前小、戸倉小

宮城県・中学校

石巻市 石巻中、住吉中、門脇中、湊中、蛇

田中、渡波中、山下中、万石浦中、青葉中、雄勝小・中、河南東中、桃生中、北上中、牡鹿中▽気仙沼市 気仙沼中、条南中、鹿折中、大島中、新月中、松岩中、階上中、面瀬中、唐桑中、大谷中、津谷中▽東松島市 矢本第一中、矢本第二中、鳴瀬未来中▽女川町 女川中▽南三陸町 志津川中、歌津中

福島県・小学校

いわき市立豊間小、同永崎小、同久之浜第一小、同久之浜第二小、田村市立都路小、南相馬市立小高小・福浦小・金房小・鳩原小、広野町立広野小、楡葉町立楡葉南小・楡葉北小、富岡

町立富岡第一小・富岡第二小(三春校、富岡校)、川内村立川内小、大熊町立大野小・熊町小、双葉町立双葉北小・双葉南小、浪江町立津島小、同なみえ創成小、葛尾村立葛尾小、飯館村立いたて希望の里学園

福島県・中学校

いわき市立豊間中、川俣町立山木屋中、広野町立広野中、楡葉町立楡葉中、富岡町立富岡第一中、同富岡第二中、川内村立川内中、大熊町立大熊中、双葉町立双葉中、浪江町立なみえ創成中、葛尾村立葛尾中、飯館村立いたて希望の里学園

読んでみたい本 児童文学評論家・藤田のぼる

絵本

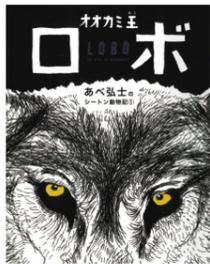
『雨の日の地下トンネル』(鎌田歩・作、アリス館)

帯に「まちをまもるひみつのトンネル」とありますが、私たちは家の周りの排水溝までは見ているものの、その先は降った雨がどこにどう行くのか、ほとんど知らないのではないのでしょうか。大ざっぱに言えば近くの川から大きい川を経て海へというコースをたどるわけですが、それをコントロールする排水機場という施設や地下放水路の仕組みなどはまったく知りませんでした。ダイナミックなそうした仕掛けが、わたしたちの住む町の地下に隠されていることを、この絵本は余すところなく伝えてくれます。大人も子どもも一緒に楽しめます。(低学年から、1400円+税)



『オオカミ王ロボ』(あべ弘士・文・絵、E・T・シートン原作、学研プラス)

これは絵本というか、絵物語というか、シートン動物記の中でもポピュラーなこの話を、動物を描かせたらこの人というあべ弘士が、文も含めて一冊に仕上げています。5年間でざっと2千頭もの牛を仕留めたオオカミの群れ。そのリーダーがロボで、どんなワナや毒エサも歯が立ちません。牧場主から相談を受けた(私)とロボとの死力を尽くした対決が始まります。これがシリーズ第1巻で、「あべ弘士版シートン動物記」の始まりです。(中学年から、1400円+税)



低・中学年向け

『めいたんていサムくん』(那須正幹・作、はたこうしろう・絵、童心社)

2年生のオサムは、小さい頃から推理が得意でみんなから「めいたんていサムくん」と呼ばれています。頭をすっきりさせたい時は、赤ちゃんの時から離さない空色のタオルハンカチの匂いをかぐ、というところがご愛敬。ここでは「きえたおにんぎょう」「のらいぬのひみつ」の二つの事件を解決するサムくんが描かれます。「ズッコケ三人組」の那須正幹さんが、これまでほとんど例のなかった低学年向けの探偵物に挑戦、次作も予告されています。(低学年以上向き、1100円+税)



『トリコロールをさがして』(戸森しるこ・作、結布・絵、ポプラ社)

この作品、中学年に入れるか高学年に入れるか、迷いました。主人公は4年生の真青(まお)。副主人公ともいべき真姫(まき)は6年生で、真青にとって真姫は近所の仲の良いお姉さんです。ところが、この頃の真姫は真青と一緒にいる時も楽しそうではありません。そんな真姫の関心事は、子ども向けのファッションブランド「トリコロール」で、真青もこっそりその専門店に行ってみます。殊に女の子の場合、4年生と6年生の違いは大きいですね。こういう、多分誰にも覚えのある感覚が細やかに描かれていて、ちょっと切ない、そしてさわやかな物語に仕上がっています。4年生にも6年生にも読んでほしいと思いました。(中学年以上向き、1300円+税)



『俳句ステップ!』(おおぎやなぎちか・作、イシヤマアズサ・絵、佼成出版社)

「ホームランうったぞやった夏の空」これは3年生の裕太が作った俳句。「さる山のさるにとられた春ぼうし」は七実の作った俳句。七実は公園でたまたま出会った裕太のばあちゃんの薫子さんから、俳句を習っています。ところが、この七実の作った俳句が、他の子の名前で市の子ども部門の大賞に選ばれたのです。近年、俳句を題材にした児童書を時折見ますが、3年生は珍しい。そして、3年生ならではの思いが込められた五七五に感心しました。(中学年以上向き、1300円+税)



高学年・中学生向け

『おじいちゃんとの最後の旅』(ウルフ・スタルク作、キティ・クローザー絵、菱木晃子・訳、徳間書店)

ウルフのおじいちゃんは、島で暮らしていましたが、おばあちゃんが亡くなり、一人暮らしに。ところが骨折のため、本土の病院に入院することになりました。ベッドでも傍若無人なおじいちゃんを、息子であるお父さんは見舞いに行きたがりませんが、ぼくはこっそりビールを届けたりしています。そんなおじいちゃんとウルフが立てた計画は、週末に家に来てもらうという口実で、実際には二人で島の家に向かうことでした。実は、余命の長くないおじいちゃんは、亡き妻の思い出の品で、どうしても手元に置きたかったものがあつたのです。この計画には、「年上のいとこ」役が必要で、ウルフ



フは近所のパン屋で働くアダムにそれを頼みます。

作者はスウェーデンを代表する児童文学者で、これが遺作となりましたが、おじいちゃん、折り合いの悪い息子であるウルフの父、そして若者のアダムといった大人の登場人物のリアリティが作品の奥行きを支え、味わい深い物語となっています。(高学年以上向き、1700円+税)

『団地のコトリ』(八束澄子・作、ポプラ社)

部活のバレーボールに熱中する美月。3年生になって顧問が変わり、ぐっとやる気が増しています。美月の父親は亡くなり、保育士である母親と団地の3階で暮らしていますが、下の階には柴田のじいちゃんが住んでいます。以前は団地の世話役として活躍していたじいちゃんでしたが、奥さんを亡くしてからは人が変わったように閉じこもっています。かわいがっているインコが窓から出て、下のじいちゃんの家を網戸に挟まってしまい、助けてもらったのですが、一人暮らしのはずのじいちゃんの中に、誰かいるような感じを受けます。実はじいちゃんは、複雑な事情がある若い母親と女の子を匿っていたのです。



物語は、部活や受験に忙しい美月をめぐって進行していくと共に、じいちゃんの家で隠れている女の子・陽菜をめぐる物語が重なっていきます。そして、美月が陽菜母子ととんでもない形で向き合えなければならぬ展開が待っていたのです。ずっしりと重い、しかし人間への信頼を感じずにはいられない、感動的な作品でした。(中学生以上向き、1400円+税)

ベルマーク寄贈者・友愛援助リスト(敬称略)

〈震災寄贈〉 8月21日～9月20日
▼北海道 渡辺美香 東芝エレベータ(株)旭川営業所 ▼岩手県 (株)近藤設備北上統括事業所 盛岡市立太田小学校令和元年度三年生一同 (株)ニコニコ総合企業 ▼秋田県 市川聖 戸嶋祐子 ▼茨城県 生田日まゆみ 匿名希望 ▼埼玉県 田中くみ子 OKI ソフトウェアユニオン ▼千葉県 鶴田貴子 大島桂子 関田元子 松本 向智子 ▼東京都 武田律子 東京ドロウイング(株) 東日本旅客鉄道(株)東京駅エコ活動PT 川崎啓一 二之江中学校生徒会本部 丹羽啓達 村尾久史 J&J 愛をささやく 日本基督教団小金井緑町教会 平野美穂 匿名希望 ▼神奈川県 加藤美和 鶴飼弘子 スコーレ家庭教育振興協会 匿名希望 ▼富山県 魚津地域福祉事業所 スマイルばびー ▼岐阜県 井貝未奈 (株)堀川組 匿名希望 ▼静岡県 (株)星野新聞伊東店 北川智巳 ▼愛知県 ペットサロンピービー ▼滋賀県 福田章典 ▼京都府 野田美奈子 ▼大阪府 寺田都津美 村上弘恵 匿名希望 ▼兵庫県 吉田崇規 新井東寿 時宗香織 ▼和歌山県 谷祐輝 ▼岡山県 小島日出男 匿名希望 ▼広島県 川岡陽子 ▼山口県 岡本純子 ▼徳島県 船田寿美礼 ▼福岡県 中村喜代子 佐藤秀明 ▼熊本県 後藤幸子 匿名希望 ▼鹿児島県 A コープ伊敷ニュータウン café オアシス SONY 鹿児島 studioprincess TKPalju アルモニー薬局 鹿児島市社会事業協会 鹿児島大学 かごしまベ

ルマーク運動推進の会 カラーラ伊敷店 川畑篤 川原佳奈絵 草牟田小学校給食室 さとみクリニック ジョイフル恵理 聖母幼稚園 西伊敷の太陽クリーニング 原村かつ子 別当智子 松野 宮脇孝子 山口浩クリニック 和田朋美 ▼沖縄県 沖縄県労働金庫労組 ▼無記名=18件
〈一般寄贈〉 8月21日～9月20日
▼北海道 北海道キリンビバレッジ(株) 美唄消費費者協会 細川恵子 山谷 NPO 法人幹の会 ▼青森県 土屋功 ▼福島県 福島県北砕石販売協同組合 大島雅仁 ▼茨城県 宮本めぐみ ▼埼玉県 安藝正子 戴陽一 小林麻衣子 松澤由美子 川島誠 高橋園子 藤田瑞恵 子供をもつ女性 匿名希望 ▼千葉県 ちどり保育園 石井光子 高野静子 松本新子 ▼東京都 加藤熱美 鴨居愛佳 菊地恵理 北野陽子 小島はるか 佐々木明美 日本俳優連合 野口晴代 平野美穂 飛永百合子 メルテック・ビジネス(株) 横沢護 市川佳世子 大石夢見 大田区立梅田小学校 住商建物(株) 高城朋子 日本キリスト教団目白教会 (株)中林 匿名希望 ▼神奈川県 ASA 二俣川 川崎久美子 根笹俊一 石黒琢一郎 (株)ハウスクリニック横浜中央センター 和田俊子 匿名希望 ▼新潟県 佐藤敦子 ▼石川県 (株)GRAN / (株)プレシャス ▼山梨県 (株)クリーン環境センター ▼長野県 (福)白馬村

社会福祉協議会 K.Suda ▼静岡県 上田浩晶 松下美奈子 (株)遠州急行 島中将也 匿名希望 ▼愛知県 岡谷コンサルタント(株) みよし市立北中学校 川口栄子 新海のぞみ 杉山まり子 高羽こずゑ 中村哲也 内海裕子 水野深雪 匿名希望 ▼三重県 岡田夏海 匿名希望 ▼滋賀県 今井永子 ▼京都府 下阪富枝 金田伸子 吉田沙絵 吉原美登里 ▼大阪府 (株)ジーケーパートナーズ 竹内幸子 辻諭 東海大学付属大阪仰星高等学校生徒会 西内聡子 三重重工冷熱(株)近畿支社空調部メンテナンス課 伊藤光子 ▼兵庫県 岩屋郵便局 福崎小学校 福田登三枝 西村裕子 ▼奈良県 小川博正 ▼和歌山県 匿名希望 ▼鳥取県 永原千恵 ▼島根県 田村裕心 ▼岡山県 大塚泰弘 鳥越多美子 ▼広島県 匿名希望 ▼山口県 (株)ワイドシステム ▼香川県 (公財)高松市国際交流協会 ▼愛媛県 羽藤芳子 ▼福岡県 内田千恵子 副島亜樹 松木 永富煌一郎 ▼熊本県 竹永すみえ 牧山健二 ▼大分県 石堂泰史 井上義雄 ジュンク堂書店大分店 ▼沖縄県 城田純子 ▼無記名=23件
〈友愛援助申し込み〉 9月1日～9月30日
◆東京都 明正小(世田谷区) ◆愛知県 天使幼稚園(豊山町)

大台達成校

9月		
恒久小	宮崎市	5,008,904
大新小	盛岡市	4,016,999
山田小	滋賀県草津市	4,000,392
朝日小	石川県白山市	3,004,428
吹田第三小	大阪府吹田市	3,023,190
鶴崎小	大分県	3,003,783
国富小	宮崎市	3,006,445
南野川小	川崎市宮前区	2,015,026
ほんごう幼稚園	岐阜市	2,010,318
富岡ひばりこども園		
	群馬県富岡市	1,001,457
井戸堂小	奈良県天理市	1,041,987
第一幼稚園	徳島県鳴門市	1,003,183
田隈小	福岡市早良区	1,015,087
大善寺小	福岡県久留米市	1,031,338
帖佐中	鹿児島県始良市	1,154,303

